

XX. 災害対策推進チーム

災害対策推進チームは、院内における防災訓練の企画・運営を中心に活動している。近年は、自然災害のみならず、サイバー攻撃や病院機能停止など、多様化する危機事象を想定したオールハザードアプローチによる訓練を継続して実施している。

2022年度は、地震災害を想定し、災害対策本部の立ち上げおよび本部運営を中心とした訓練を実施した。2023年度は、DMAT近畿ブロック訓練と連動し、浸水による病院インフラ破綻を想定した病院避難訓練を実施した。一部病棟患者の院内避難を行い、多職種連携による搬送調整や患者安全確保について実践的な訓練を行った。さらに、2025年度は、新病院移転に伴い想定される危機事象をテーマとした訓練を実施し、新たな施設環境や運用体制への移行に伴う課題抽出と対応について検討を行った。

特に、2024年度訓練は、サイバー攻撃による電子カルテおよび部門システム停止を想定し、災害発生初期における対応力向上と、オールハザードアプローチに基づく危機管理体制の強化を目的として開催した。

訓練はグループワーク形式で行い、「災害の認知と共有」「組織体制の確立」「安全確保と危険情報共有」「通信・連絡体制確保・情報共有」「情報収集・評価・意思決定・計画立案」など、CSCATTTの概念に基づいた内容を中心に実施した。また、災害対策本部設置時に必要な要素を整理するため、「HeLPSCREAM」を用いた本部運営シミュレーションも行った。

訓練では、電子カルテ停止時の初動対応、情報センターとの連携、代替通信手段の活用、紙カルテ運用への切り替え、本部機能の役割分担などについて、多職種で意見交換を行いながら対応を検討した。さらに、実際のランサムウェア被害事例を共有し、平常時からのサイバーセキュリティ対策およびBCP・IT-BCP連携の重要性について理解を深めた。

この訓練を通じて、災害時における迅速な指揮命令系統の確立、正確な情報共有、組織的対応の重要性を再認識するとともに、災害対応を“自分ごと”として継続的に考える意識向上につなげることができた。今後も実践的かつ継続的な訓練を通して、病院全体の危機管理体制強化に取り組んでいく。

写真① 講義



写真② グループワーク



写真③ 院長の総評

